

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：トルコ

日付：6月30日

報告書名：令和6年度 完了報告書（JPF）

令和6年度 JPF 完了報告書

事業名	ハタイ県の被災した子どもを対象にした教育支援 Educational Support for Children Affected in Hatay Province
事業対象地	ハタイ県アンタキア地区
事業期間	2023年10月16日～2024年8月16日
公的資金種別	ジャパン・プラットフォーム
予算	24,996,312円
実施内容概要	2023年2月、トルコ南東部を震源に発生した大地震では、校舎の損壊や教師の被災によって通学可能な学校が大幅に減少したことや、不十分な通学手段により、400万人以上の子どもの教育に悪影響が出た。トルコ政府によって公立学校は再開されたものの授業時間は従来の半分に限られ、民間教育サービスへのアクセスも困難であった。そこで被害が甚大であったハタイ県アンタキア地区において、被災した子どもが安心して学習できる常時開放型のコンテナ型学習スペースを設置し、またそのスペースにおいて補習コースを開催した。加えて、子どもが抱える学習環境面と心理面に関する問題について専門家による研修・相談を実施し、被災した子どもに対する教育機会の補填および学習の再開・継続に貢献した。
成果の達成度	学校以外の学習スペースを整備することで、子どもたちに十分な学習時間を確保することができた。事業終了時のモニタリングで、100%が「補習コースへの参加し、宿題への理解度が向上した」と回答したことなどから、学習を再開・継続することに効果的だったといえる。また、非就学の子どもとその保護者に対して専門家の相談・カウンセリングを実施後、相談・カウンセリングを受けた子ども131人のうち118人（約90%）が復学および通学を継続していた。このことから、適切な相談・カウンセリングが実施できたといえる。
学びと提言	コンテナ学習スペースの運営では子どもの積極的な参加・関与を奨励し、学習スペースの規則は、利用者の子どもの意見を考慮して設計された。またイベント等では保護者やそれ以外の大人の観覧を奨励したことから、避難区域全体で子どもの教育と発育を奨励する雰囲気が醸成された。一方、学習スペースとして使用した、トルコ政府より無償提供されたコンテナが、一度に多くの子どもを収容できなかったために、子どもの年齢等で利用時間を制限せざるを得なかった。このため、一度に多くの子どもが利用できるような時間割・レイアウトの工夫の必要性が認識された。